

1. 2003年度採用実績

職 種	氏 名
医 師	松村富二夫(外科)・益山貞治(外科)・下園孝治(神経内科)・宮川頼行(リハビリテーション科)
看 護 師	菊地みさと・佐々木直実・竹元幸子・元濱由樹・古川利子・後藤名子・柏野多佳子・園田真由美・本藤のぞみ・西村美香
看護助手	南阪明香・寺本貞美・長山晴美
検査技師	上村紫織
事 務	山下裕美子・今村修二

(採用日順・敬称略)

2. 永年勤続表彰伝達式

10月28日、ホテルニューオータニ熊本で永年勤続者を対象に熊本県支部の表彰伝達式を行い、みすみ病院から以下の職員が受彰した。

	対象者
10年表彰	宮瀬秀一・坂田秀美

3. 施設・設備整備

開院スタート年度は、早期に診療機能体制を確立すべく、通年して施設・設備整備を重点的に行った。病棟、外来診療棟の診療に直接関わる場所だけではなく、研修ホール・駐車場・レストラン・更衣室等サービス部門の整備も行い、計画した施設整備は1年目にほぼ終了した。

医療機器においても、4月、8列マルチスライスCT、7月、超音波画像診断装置、2004年2月、1.5テスラMRI等の機器を導入し、地域において急性期病院としての役割を担うための体制作りを行った。

4. 職員宿舎の確保

福利厚生の一環として、また病院周辺には賃貸アパート・マンション等が不足していることもあり、下記の通り職員宿舎を確保した。

(職員宿舎)

	部屋数	用 途	入居時期	場 所	備 考
看護師寮「トライコート」	25	看護師専用	2003.2月	三角町首入	
敷地内家族宿舎	12	家族、医師専用	2003.3月	病院敷地内	2003年改修
ガナルマンション	10	単身用	2003.7月	三角町波多	賃貸
ハビネスアトビラ	15	単身用	2004.3月	大矢野町登立	賃貸
キュアホームヨシダ	2	家族用	2004.3月	三角町波多	賃貸
計	64				

5. 2004年基本方針の発表

年末のリーダー以上研修会にて、2004年基本方針策定について議論を行い、年頭の院長挨拶で発表した。2004年は、地域医療体制の充実をはかっていくために、医療機関・福祉施設・行政・住民そして職員一体となった共同製作の病院作りを目指していく主旨のもと、Key Wordを「Collaboration」とした。

◎基本方針（骨子）

- ① 顧客満足の実現
- ② 診療体制の早期確立
- ③ 人材確保と職員のモチベーションアップ
- ④ 病院経営の安定化
- ⑤ 医療の質向上

◎重点項目

- ① 地域のニーズにあった診療機能を構築する
- ② 広報活動を強化する
- ③ 医師の確保と職員の教育体制を整備する
- ④ 回復期リハビリ病棟を円滑に立ち上げ・運用する
- ⑤ 病院経営の早期安定化をはかる

6. 開院記念式典

12月6日、院内改修の目途がついたところで総裁寛仁親王殿下のご臨席を賜り、開院記念式典を執り行った。殿下ご臨席日程、会場予約は開院後から準備を進め、2～3カ月前から役割分担を明確にして本格的な準備にとりかかった。みすみ病院の今後を占う上で、また将来的にみても歴史的なイベントとなることを思うと、当式典は成功させなければならず、準備事項を一つひとつ確認しながら、また済生会本部・ホテル・警察・行政・職員等多くの関係者と何度も打ち合わせを重ねながら、事前準備に万難を排して本番に臨んだ。延100名近くの熊本・みすみ両病院の職員の方々にご支援頂

き、おかげさまで約160名の来賓を迎え、滞りなく当式典を終了することができた。

【開院記念式典スケジュール】

時間	項目	場所	主な内容
10:00	病院 内覧会	みすみ病院	・記念植樹 ・シルクフラワー御下賜
14:30	記念式 典	熊本ホテル キャッスル	・式辞(須古博信熊本県済生 会支部業務担当理事) ・総裁おことば ・祝辞(福岡悟厚生労働省国 立病院部長・潮谷義子 熊本県知事・吉田等三 角町長・柏木明熊本県 医師会長) ・経過報告(木下裕幸事務長) ・謝辞(瀬井圭起院長)
16:00	祝賀会		・挨拶(瀬井圭起院長) ・病院紹介(庄野弘幸診療部長) ・祝辞(園田博之衆議院議員) ・乾杯(園田幸信全国済生会 病院会会長) ・謝辞(庄野弘幸診療部長)

7. 防災ヘリコプターを使っの患者搬送訓練の実施

地域の救急医療を支えていくうえで、当院の存在は必要不可欠である。そこで、テニスコートをヘリポートとして使用できるように整備し、5月24日に県の防災ヘリコプター「ひばり」を使っの救急患者搬送訓練を実施した。

ヘリコプターはテニスコートに着陸し、搬出・搬入の両方のケースを想定して、繰り返し離発着訓練を行った。ヘリコプター搬送が行われると、みすみ病院から熊本までの所要時間は10分程度となり、重篤な患者さんに対する素早い処置ができるようになり、地域医療のさらなる充実がはかられる。

8. 地域行事「港まつり」への参加

地域住民との親睦を深め、みすみ病院をPRするために7月20日海の日に、地域行事「港まつり」に参加した。祭りのメインイベントとなる踊りパレードに出場するにあたり、法被をそろえ、業務終了後に何度も踊りの訓練を重ね、本番に臨んだ。結果は観客へのPR度で選ぶ「あなたと私の踊り賞」を頂くことができた。

地域住民と一体となり、また職員一致団結して取り組んだ「港まつり」は非常に有意義なイベントとなった。今後も、積極的に地域行事に参加し、みすみ病院のより一層のPRに努めていきたいと思う。

9. 職員数推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
医 師	7	7	7	8	8	8	9	9	8	9	9	9
看 護 師	41	41	41	42	48	50	52	51	51	52	52	53
准 看 護 師	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
看 護 助 手	10	10	12	12	12	13	13	13	12	12	12	11
薬 剤 師	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4
検 査 技 師	8	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
放 射 線 技 師	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
理 学 療 法 士	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
臨 床 工 学 士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
管 理 栄 養 士	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
事 務 員	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
労 務 員	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合 計	90	87	89	90	96	99	103	102	100	102	102	102

